

平成28年度 子供ゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 家庭の教育力を高める「ファミリーキャンプ」 ～緊急開催！夏のリベンジ！～

- 1 趣 旨 自然体験を通して家族の絆を深め、家族相互の交流を図る。
- 2 期 日 平成28年9月10日（土）～11日（日） 1泊2日
- 3 対 象 者 キャンプや自然体験に興味のある家族
- 4 募集定員 12家族60人
- 5 参 加 者 11家族27人
- 6 指 導 者 国立大隅青少年自然の家職員
ボランティア1人



7 日程と主な活動

9月10日（土）	9月11日（日）
13:30 受付	6:00 起床
14:00 出合いのつどい 歓迎のあいさつ 家族紹介 自然の家職員・ボランティア紹介 オリエンテーション	6:30 テント撤収 7:30 朝食（レストラン） 8:30 新城海の家へ移動 9:00 活動「カヤック体験&海遊び」
14:30 活動「スポーツクライミング」	11:30 あとかたづけ・更衣
16:30 テント設営	12:00 別れのつどい 送別のあいさつ
17:00 野外炊飯「釜揚げカレーうどん」	12:20 解散
20:00 入浴・自由交歓	
21:30 就寝準備	
22:00 消灯	

8 事業運営について

- (1) 7・8月の「ファミリーキャンプ」が定員を大きく上回る申し込みがあり、また波がありメインとなるカヤック活動ができなかったことから、キャンプ参加家族と抽選に漏れた家族を対象として急遽計画した。
- (2) 家族同士の交流が行えるよう、余裕を持った時間配分とした。
- (3) 小さい子供がいる家族など様々なニーズに対応できるよう、テントの他、本館宿泊室でも宿泊ができるよう配慮した。



9 事業の実際

- (1) クライミングでは、ハーネスの着脱等をスタッフが入念に確認し、安心・安全に活動できるよう万全の注意をはらった。小さい子に対しては、少しロープを引いてあげる等、それぞれの体力に見合った補助を行った。
- (2) 野外炊飯では、複数家族でグループ構成するよう留意し、家族間の交流が促進されるようにした。子供同士で力をあわせ、その作業を大人が見守ることで、新たな交友関係が生まれた。
- (3) テントだけでなく、希望者は本館で宿泊できるようにしたため、乳幼児をもつ家族も安心して宿泊できたという声をいただいた。
- (4) 入浴時間をゆっくりとったことで、家族毎のペースでゆっくり入浴準備等ができ、夕食後に家族間で歓談する姿もみられた。
- (5) カヤックでは、着替え等に若干の時間がかかったものの、天気に恵まれ、また各艇に保護者が乗艇できたこともあり、ミニツーリングまでたっぷり楽しむことができた。
- (6) 子供の年齢差が幅広く、体力の差もあることから、カヤックを早めに終えたい家族は、波打ち際で遊べるよう、水際にもスタッフを配置し、対応できるよう留意した。



10 参加者の感想

- 子供たちの交流もあり体験も面白かった。
- たくさんのご家族、そのお子さんと接することができて本当に楽しかったです。
- 普段とは全く異なる環境に身を置くことで、「秋の風を感じ」たり「朝の緑の香り」などダイレクトに感じる事ができました。

11 成果

- 急遽の計画だったため、当施設で人気のあるアクティビティを組み合わせでの開催となったが、これまで安全管理等ノウハウの蓄積がある活動だったため、安全且つスムーズに運営できた。
- ナタを使った薪の割り方で、小さな子供同士で薪を割る方法を提示したことで、子供同士がファミリーの枠を越えて楽しみながら安全に薪割りする姿が見られた。

